

1 主題名 きまりを守って 4－（1）

2 資料名 やくそく（日本標準）

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

約束を守ることから、人の信頼が生まれる。しかし、相手に合わせてその場限りのいい加減な約束をすることは、自己を見失うことにもつながる。そのため、約束をする時には、相手のことを考え、主体的に判断する力を育てたい。約束を守るとは、友達を大切にすることであり、また自分を大切にすることである。さらに、自分を成長させることでもあるということを理解させたい。

(2) 児童について

明るく素直な子が多い。しかし、まだ自己中心的な態度から脱却できず、人を思いやるとか相手のことを考えて行動するとかができない子もいる。資料のように約束を破ったり破られたりした経験を持っている子も数名おり、つらく悲しい気持ちを味わっている。3年生は行動範囲や交際範囲がぐんと広がり、遊びの中でさまざまな体験をしながら、価値形成が行われていく時期である。適切な人間関係を作り、社会性を育てるためにも、社会のきまりや公德心を大切にしていこうとする心情をこの題材を通して育てていきたい。

(3) 資料について

主人公の約束に関わって、破った側と破られた側に立った体験が集約された資料である。人は多かれ少なかれ、約束を守らなかったり、約束を破られたりした経験を持っている。子どもたちに反対の二つの立場から、約束を守ることの大切さを考えさせていきたい。その上で、社会のきまりを守ることや、公德心を育てることにつなげていきたい。

(4) 指導について

約束を自分が守らなかった体験と、約束を破られた体験の二話を劇化し対比する。演じてみたり演じるのを見たりすることによって、それぞれの立場を理解し、何が問題だったのかを話し合わせ、約束やきまりを守ることの大切さを理解させたい。

また、終末では、「心のノート」の「やくそくやきまりを守るから仲よく生活できる」と関連させて、学校やクラスの中にある約束について、自分は守ることができるか考えさせたい。その時グループ活動を取り入れ、みんなの前で約束を宣言することによって、積極的に守っていこうとする心情を育てていきたい。

4 本時のねらい

約束や社会のきまりを守り、公德を大切にすることを育てることができる。

5 準備物

主人公の顔の絵（お母さんに注意されている時の顔、友達が来なくてがっかりしているときの顔）、ワークシート、登場人物の名札

6 本時の展開

過程	主な発問と予想される児童の反応	支援（・）と評価（☆）
気づく	<p>1 自分たちの生活をふり返る。</p> <p>○今までどんな約束をしてきましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いっしょに遊ぶ。（友達） ・廊下を走らない。（学校） ・帰ったらすぐ宿題をする。（家の人） ・一列に並んで歩く。（地域） 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな人とさまざまな場所で、約束をしていることを意識づける。
考える ・ 深める	<p>2 資料「やくそく」の前半を劇化して話し合う。</p> <p>○見ていて感じたこと、演じてみて感じたことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさわさんは約束を破られてかわいそうだ。 ・「わたし」は約束を守らなかったのが悪い。 <p>○主人公であるわたしは、約束を破ったことをどう考えているのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪いとは思っていない。 ・相手のことは考えていない。 ・お母さんにあやまるように言われて、悪いとは思ったようだ。 <p>3 資料「やくそく」の後半を劇化して話し合う。</p> <p>○約束が守られなかったとき、わたしはどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして来ないのかな。 ・さびしい。 ・がっかりした。 <p>○約束の仕方はどうでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よこやまさんは「たぶん、行くわ。」と言っている。 ・はっきり行くとは言っていない。 ・いいかげんな言い方だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・細かいことにこだわらずに代表2～3組に演じさせる。 ・約束したことを軽く考え、約束したことに責任を感じていないことに着目して考えさせる。 ・「わたし」の無責任な行動によって、「ふるさわさん」の気持ちはどうなったか考えさせ、後半につながるよう配慮する。 ・前半とも関連づけて、「わたし」の気持ちはふるさわさんの気持ちと同じであることに気づかせていく。 ・「たぶん」という言葉の持つ曖昧さ、無責任さに気づかせる。 ・前半と後半の出来事は、一つの出来事であることに気づくよう進める。
見つめる	<p>4 自分に置き換えて考える。</p> <p>○約束したことを守るにはどうしたらいいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むせきにんなやくそくはしない。 ・周りの人のことも考えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との約束を守ることは、家庭や学校のきまりを守ることに基本的な考え方で通じ合っていることを自覚させる。
高める	<p>5 これから守っていきたい約束やきまりを見つけ、ワークシートに書き、発表する。</p>	<p>☆「心のノート」と関連づけて、守っていきたい約束やきまりを見つけることができたか。 (ワークシート)</p>

7 授業の観点

- ・劇化して考えさせたことは、約束の大切さを心情として理解するのに効果的であったか。